

(様式 2)

令和 5 年 4 月 2 8 日

女性の就農環境改善計画

(令和 5 年度女性の就農環境改善支援事業)

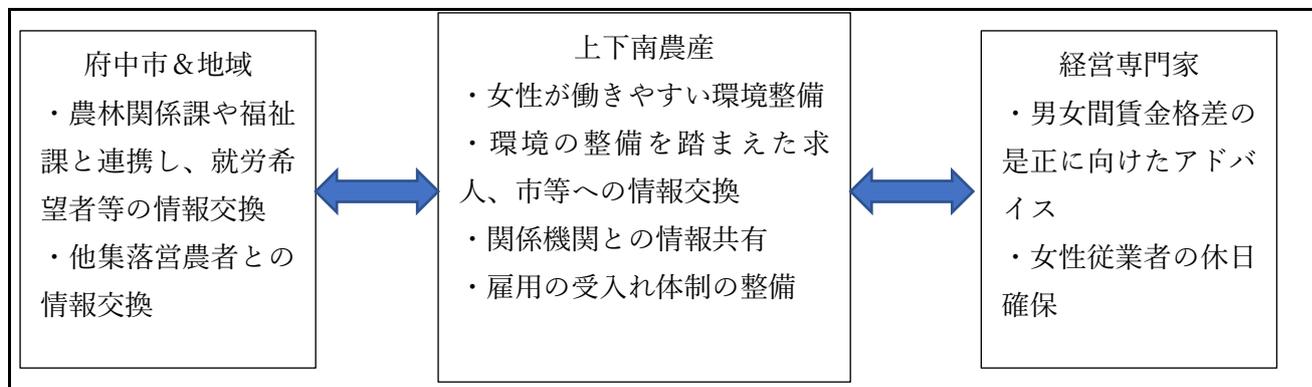
実施するメニュー (該当に○)	第 4 の (1) (施設等確保の取組)	○
	第 4 の (2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	農事組法人 上下南農産	
所在地	広島県府中市上下町矢多田 2 3 1—1	
代表者	代表理事 末 宗 龍 司	
主な組織の事業内容 (注)	<ul style="list-style-type: none">・ 事業内容：水稲 (コシヒカリ・ヒメノモチ・WCS用稲) の生産・販売・ 野菜 (キャベツ・ハクサイ・キュウリ等) の生産・販売・ 従業員数： 30名 (うち女性が最大で 11名)・ 経営規模：25.1ha (水稲：21.3ha、野菜：3.8)・ 農業関連事業：農産物 (餅) の加工品の製造・販売・ 就職率向上策： 支払賃金 (時間給) の男女間格差の是正 女性従業員の理事会参加 女性従業員の役員登用	女性農業者の 人数： 最大11名 うち、 常時従事者 8名 応援従事者 3名

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

<p>【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の生産面積の拡大と農産物（餅）の加工販売事業の強化から女性従業者の雇用を増やすことが急務となる。 ・女性従業者の雇用促進を図りたいが、地域での高齢化の進展から農業従事者の確保が難しい状況に加え、3K（きつい、汚い、危険）と言われる農業への就労希望者が少ないことが課題となっている中で、特に従業者の確保が難しい現状にある。 <p>【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性従業者8名（最大で11名）が交代で、野菜の生産・出荷作業に従事するほか、農産物（餅）の製造・販売業務に従事している。 ・野菜の出荷施設内及び餅の加工施設の横に男女兼用の簡易トイレを設置しているが、男女双方がお互いに気を遣って使用しており、特に、若い女性従業者は、強いストレスを感じている状況である。 ・野菜生産部門や加工部門における女性従業者の雇用を促進するためには、加工部門の横（野菜の出荷場から徒歩5分以内）への男女別トイレの確保が必要である。 <p>【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の雇用拡大・定着を図るためには、本事業で取り組む男女別トイレ確保を皮切りに、女性従業者の働きやすさという視点に目を向け、女性従業者の声を聞きながら労働環境の改善・整備を進めていく方針である。 							
---	--	--	--	--	--	--	--

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他						備考
	区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者(注2) の人数	事業費 (千円) 国庫補助金	
②男女別 トイレ	R5.9 まで	加工販売施設 の横	1	10	4,334	3,000	

計	1	10	4,334	3,000	
---	---	----	-------	-------	--

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分 ①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他							
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
<p>R5. 4～ 男女間格差 の是正</p> <p>R4. 9～ 理事会への 参加</p> <p>毎月2回 2024. 1月 毎月発行 繁忙期前 随時</p>	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落営農法人として、野菜生産部門及び加工品販売部門の安定した経営を持続するには、女性従業員の確保が必要であることから、女性従業員の時間給賃金を増額し、男女間格差を見直すなど、離職率の低下と雇用促進に努めている。 また、女性の活躍の場を拡大するため、女性部長、副部長を指名し、理事会へ参加し、女性従業員の意見を反映できる体制としている。 <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当農産では、女性従業員が主に活躍している野菜生産部門における露地野菜（キャベツ）の生産・出荷作業及び加工品販売部門における餅の製造・販売について、今年の事業計画では、野菜の生産面積の拡大と餅の製造販売の強化から、女性従業員の雇用が必要なことから、これからの農繁期に備え、3名の女性従業員を雇用したいと考えている。 また、本事業により設置する男女別トイレの設置場所には、加工施設があるほか、当農産の事務所や他目的会議室があり、地域の住民が集まる場所でもあることから、男女別トイレの設置は、地域住民からも歓迎されると考えている。 <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会における女性部からの意見徴収 ・ 専門家派遣による経営相談（2023. 1月 3回終了済） ・ 当法人が発行する広報誌「あぜみち通信」での求人掲載 ・ ハローワークへの求人情報の掲載 ・ 府中市や農業技術大学校等の機関からの就農希望者等の情報提供 	<p>【目標】</p> <p>本年度： 女性従業員 新規 3名</p> <p>翌年度： 世代交代 2名</p>

（注）3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	新規3人
	事業実施翌年度	世代交代2人
	合計	最低5人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）		
自営農業就業者 人、雇用就農者 3人、 アルバイト等 2人		

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

（参考）

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画	
（第4の（1）「施設等確保の取組」のみ記載）	
【事業実施年度】	
（取組予定業務）	野菜生産部門兼加工販売部門
（採用時期）	令和5年4月以降
（人数）	3名予定
【事業実施翌年度】	
（取組予定業務）	野菜生産部門兼加工販売部門
（採用時期）	令和6年以降
（人数）	2名予定

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。